

# 令和3年度交付金事業に係る評価専門委員会の開催結果について

## 1 開催概要

千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 第5に規定する交付金事業については、事業実施後に県が効果検証・評価を実施するとされているため、学識経験者等の第三者から構成される専門委員会\*において、事業年度ごとに評価を実施しています。

令和3年度交付金事業に係る専門委員会は、令和4年7月25日に開催し、各事業実施団体から説明を行い、委員から評価・助言を頂きました。

※地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業評価専門委員会…交付金事業の効果検証・評価を実施することを目的として、プラットフォーム会議内に令和3年6月に設置。

### 【委員名簿】

区分	委員	備考
学識経験者	宮本 みち子	放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授
経済団体	高橋 秀穂	一般社団法人千葉県経営者協会専務理事
労働団体	中島 正敏	日本労働組合総連合会千葉県連合会事務局長
行政機関	山田 匡彦	千葉労働局職業安定部職業安定課長

## 2 評価対象事業

No.	実施主体	事業名（事業の概要）
1	千葉県	ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業
2	船橋市	ふなばし地域若者サポートステーション事業
3	松戸市	就職氷河期世代キャリアチャレンジ事業
4	柏市	若者（就職氷河期世代）就労自立支援事業
5	流山市	就職個別相談「就職氷河期世代コース」事業

※各事業の概要及びKPIの達成状況は5を参照。

## 3 専門委員会における主な意見

- ・就職氷河期世代の方が抱えている事情や経歴などが多様であることから、それぞれの利用者に適した支援を行うため、生活困窮者支援等、関係機関との一層の連携を図る必要がある。
- ・事業への参加企業・協力企業の数は増えても利用者とのマッチングが難しいという問題があり、効果的なマッチングを進めるために、利用者の適性或希望を踏まえた企業開拓をするなど工夫が必要である。
- ・就職氷河期世代の置かれた状況が他の世代に比べて悪いということは統計的に明らかであり、支援を行う意味はあるが、事業を実施する中でこの世代を支援することの手ごたえがあるかということをもう少し把握できるとよい。
- ・各事業に対して大きな異議はなく、これまでの事業の実績を強化し、さらに続けていただきたい。

## 4 対応等

専門委員会の意見を踏まえ、関係機関との連携もより一層強化しつつ、引き続き、求職者の状況や適性を考慮した丁寧な就労支援に努めていきます。

## 5 各事業の概要及びKPIの達成状況等

### (1) 千葉県実施事業

【事業名】 ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業

【事業概要】 各種プログラム（社会人基礎力向上研修、企業との交流会等）の実施、一人ひとりのニーズに合わせた就職先の紹介など、きめ細かい就職支援を実施する。併せて、企業への受け入れ体制構築に向けた支援や就職後の定着支援を行う。

### 【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	計画期間中の 増加分累計
KPI①： 本事業新規利用者数（人）	目標	100	<b>400</b>	400	900
	実績	130	<b>402</b>	—	—
KPI②：本事業による就職決定 者数（非正規を含む）（人）	目標	20	<b>200</b>	200	420
	実績	15	<b>104</b>	—	—
KPI③： 本事業への参加企業数（社）	目標	20	<b>150</b>	150	320
	実績	37	<b>165</b>	—	—

### 【目標値と実績に乖離がある場合の理由（令和3年度）】

（※目標未達成の場合と、実績が目標を5割以上上回った場合に記入）

- ・（KPI②）事業開始から上半期にかけて、決定者の母数となる本事業の新規利用者の掘り起こしが苦戦した。下半期は職業訓練校での事業説明会の実施や、他支援機関からの誘導體制の確立によって新規利用者数の確保がスムーズになったものの、年度をまたいで支援継続している利用者もいるため、令和3年度の就職決定者数は目標未達成となった。

### 【事業の実施状況及びその成果】

- ・個別相談 734 名参加。
- ・3日間の就職支援講座を6回実施、62名参加。
- ・企業との交流会を4回実施、29名、19社参加。
- ・企業向けセミナーを8回実施、47社参加。
- ・職場見学・企業実習 5名、5社参加。
- ・広報活動実施。（市町村、労働局、県出先機関、就労支援施設、職業訓練校、相談機関、郵便局、JR 駅、関係機関に約 6,000 部チラシ配架、ちいき新聞にてチラシ配架、県 HP に掲載、新聞に掲載、県 Twitter、ラジオ CM、県内企業に DM 及びチラシ配架、経済団体の会報に企業向けの記事掲載、千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員に協力してもらい本事業を周知、など）

## （２）船橋市実施事業

【事業名】 ふなばし地域若者サポートステーション事業

【事業概要】 「ふなばし地域若者サポートステーション」に、就職氷河期世代を支援する専任のキャリアコンサルタントを配置する。

### 【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	計画期間中の 増加分累計
KPI①：就職氷河期世代無業者の非正規雇用を含む就職率（新規登録者数に対する就職に至った者数の割合）（％）	目標	35	<b>35</b>	35	35
	実績	37.5	<b>62.1</b>	—	—

### 【目標値と実績に乖離がある場合の理由（令和3年度）】

（※目標未達成の場合と、実績が目標を5割以上上回った場合に記入）

- ・昨年度から継続して支援している方が就職に結びついたことが原因と考えられる。

### 【事業の実施状況及びその成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業を変更して実施した。（市が実施するイベントにスタッフとして従事してもらうことを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となったため、代替事業として昨年度に引き続き出張個別相談会を実施。）
- ・本市では新型コロナウイルス感染症の影響下においても就労支援を継続することとしたため、就労を希望する者が自身の希望に沿った進路を決定することができ、目標（KPI）を達成することができたと考えている。
- ・企画・募集したものの参加者が無いイベントもあったため、今後はより参加しやすい日程・魅力的なイベントとなるよう検討していく。

#### 【参加実績】

- ・合同就職フェア：6名
- ・キャリアコン面談：61名
- ・所長面談：29名
- ・職業人講話：1名
- ・パソコン講座：46名
- ・保護者の会：3名
- ・土曜相談：7名
- ・個別相談会：8名

### 【3】松戸市実施事業

【事業名】 就職氷河期世代キャリアチャレンジ事業

【事業概要】 正規雇用を希望する松戸市内の求職者が短期間のインターンを通じて新しい仕事・会社にチャレンジできる機会を提供する。また、市内の企業を開拓し、年齢に関係なく挑戦できる機会を与えるとともに、インターン就業を通じて、双方のミスマッチを解消する。

#### 【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	計画期間中の 増加分累計
KPI①： 事業参加者数（人）	目標	(※令和3年度 から事業実施)	150	150	300
	実績	—	195	—	—
KPI②： 正規雇用就職者数（人）	目標	—	30	30	60
	実績	—	7	—	—

#### 【目標値と実績に乖離がある場合の理由（令和3年度）】

(※目標未達成の場合と、実績が目標を5割以上上回った場合に記入)

- ・(KPI②) 相談・セミナー・マッチングイベントへの参加者数は好調に推移したものの、イベント出展企業の業種・職種と、求職者の希望とがマッチせず企業へのエントリー数が絶対的に少なかった。

#### 【事業の実施状況及びその成果】

- ・マッチングイベント（合同説明会）を2回開催。（就職氷河期世代の来場者数48名）
- ・就職支援セミナーおよびスキルアップセミナーを合計11開催。（参加者数のべ86名）
- ・個別相談（オンライン・対面）の実施。（相談者数のべ61名）
- ・マッチングイベントに出展いただける事業者の業種に偏りが出てしまい、どうしても介護や運送業等の業種が多くなってしまふ。一方で、氷河期世代の求職者側は、事務職等を第一希望としていることが多くあり、マッチングをどう進めるかが大きな課題となっている。

#### (4) 柏市実施事業

【事業名】 若者（就職氷河期世代）就労自立支援事業

【事業概要】 「かしわ地域若者サポートステーション」において、就労開拓支援員の増員や就職氷河期世代を対象としたキャリア開発プログラムを実施する。

#### 【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	計画期間中の 増加分累計
KPI①： 就職氷河期世代利用者数（新規 登録者数）（人）	目標	30	35	40	105
	実績	20	28	—	—
KPI②：就職氷河期世代の就職 等（非正規雇用、進学を含む）決 定数（人）	目標	15	20	25	60
	実績	6	16	—	—
KPI③：就職氷河期世代無業者 対象協力企業開拓数（就労およ び職場体験の受け入れ先企業 延べ数）（社）	目標	15	25	30	70
	実績	66	100	—	—

#### 【目標値と実績に乖離がある場合の理由（令和3年度）】

（※目標未達成の場合と、実績が目標を5割以上上回った場合に記入）

- ・（KPI①）新型コロナウイルス感染症の影響により、就職氷河期世代の無業者においても求職活動の減退傾向が見られ、目標値には達しなかった。
- ・（KPI②）新規登録から就労まで長期的な支援を要するケースも多くあり、目標値に達しなかった。
- ・（KPI③）ウィズコロナにより企業訪問が可能になり、氷河期世代専属開拓員1名と既存の開拓員が協力して企業の求人開拓を行った結果、40代求人にも前向きな企業が多くあった。一方、採用にあたって特別な配慮を得ることは難しかった。

#### 【事業の実施状況及びその成果】

地域支援プラットフォームづくりのため、柏市総合相談窓口（あいネット）や社会福祉協議会との連携を強化しアウトリーチ（月1～2回の出張相談）を行った。また、コロナ禍で人数制限をしながらもイベントを実施できた。氷河期世代応援就職セミナーやPC講座、ハローワークでの職業適性検査を通じて40歳代の新規登録が28名あり、そのうち16人が就職等となった。再就職を目指す上でPCの基本スキルを身に付けたいと考える利用者が多かった。

- ・ハローワーク松戸就職氷河期世代支援部門・まつどサポステとの共催で就職面談会開催 1回
- ・就職氷河期世代応援セミナー等就活プログラム 6回開催 参加者数17人
- ・40歳代向けPC講座5日間コース2回開催 計35人参加
- ・40歳代の利用者に対しての個別支援（面接指導など） 9回
- ・応募面接同行23回、職場見学同行18回、職場体験同行1回、入職後の訪問支援1回

令和4年度は就労経験のない40歳代の段階的就労に適した協力企業を開拓したい。

## (5) 流山市実施事業

【事業名】 就職個別相談「就職氷河期世代コース」事業

【事業概要】 専門キャリアカウンセラー1名を流山地域職業相談室に配置し、正規雇用を目指す就職氷河期世代に対し、個別相談、職業適性検査、パソコンスキルアップ講座、メンタルサポート、就職後のフォローアップを実施する。

### 【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	計画期間中の 増加分累計
KPI①： 対象の就職率（％）	目標	(※令和3年度 から事業実施)	30	30	30
	実績	—	56.6	—	—
KPI②： 対象の正規雇用率（％）	目標	—	30	30	30
	実績	—	33.3	—	—
KPI③： 対象の相談者数（人）	目標	—	30	30	60
	実績	—	53	—	—

### 【目標値と実績に乖離がある場合の理由（令和3年度）】

(※目標未達成の場合と、実績が目標を5割以上上回った場合に記入)

- ・(KPI①) 生活を維持するための相談者が多く、当初の想定よりも特に早期に就職に至るために、あえて非正規雇用を希望する相談者の割合が正規雇用を希望する者よりも多かったことから、就職率が目標値を大きく上回った。
- ・(KPI③) コロナ禍の影響により、解雇や休職の煽りを受けて求職者が増加し、相談者数も増えた。

### 【事業の実施状況及びその成果】

- ・心理カウンセラーの資格を有した専門キャリアカウンセラーを配置し、メンタルサポートを強化。
- ・「パソコンスキルアップ講座」を相談者に無料で実施。1回の講座が1日3時間で2日間実施するもので、相談者のパソコンスキルに応じて講師がマンツーマンで指導。令和4年3月末時点で9回17名に対し実施。